

参考資料 2

運行実施計画書例（若葉台地区）

**相模原市グリーンスローモビリティ
実証運行支援業務**

**【若葉台地区 2 期】
運行実施計画書**

目 次

1. 実施概要	1
2. 運行計画	3
3. 広報計画	8
4. 資材・要員等計画.....	1 3
5. 効果把握調査計画.....	2 0
6. 準備・運営計画.....	2 3

1. 実施概要

1) 実施目的

- ・相模原市では交通不便地域（鉄道駅 1km、バス停 300m 圏外）の解消のため、民間バス路線への公費負担や、コミュニティ交通の導入を進めてきたところであるが、高齢化や地域特有の地理条件などから、身近な移動に困難さを抱える地域は依然として多い。
- ・こうした移動に関する課題解決策のひとつとして、地域主体でのグリーンスローモビリティの実証運行を通じて、相模原市における活用可能性を検討する。

2) 実施主体

- ・グリスロ若葉台の会
- ・相模原市

3) 実証実験の方針

① 実証実験の方針

- ・相模原市では、令和元年度より、地域住民が主体となって高齢者の移動支援に取り組むモデル事業を推進してきた。
- ・運行エリア一円を含む城山地区では、住民団体である「お出かけの“わ”委員会」による移動支援が実施されており、住民主体の移動支援活動に対する意欲や受容性が高いことが期待されていることもあり、「道路運送法上の許可・登録を要しない無償運送」を前提に、地域主体で検討、運営、運行を行う、ボランティアドライバーでの実証運行を実施する。

② 実証運行の場所（若葉台地区）

▼地区の特徴

- ・若葉台地区は、神奈川県のリニア駅が設置される JR 橋本駅から約 5 km に位置する丘陵部を造成した住宅団地で、約 2,100 人、900 世帯*が暮らしている。
- ・周辺の市街地と比較し、標高は約 60m 程度高く、団地内は通過交通も少ないことで、静穏な住環境を形成している。
- ・1970 年代後半の入居開始より 40 年以上が経過し、居住者の高齢化率が 57%*と高い。
- ・団地内には郵便局や小規模な飲食店が数軒あるものの、買い物や通院は団地外に行く必要がある。
- ・団地から橋本駅方面へ向かうバス路線がピーク時には 5 本/時、オフピーク時にも 2 本/時と少なくない頻度で運行されている。
- ・団地内も高低差があることから、徒歩移動は負荷が大きいことに加え、バス路線が日常的な買い物施設とやや離れていることや、橋本駅方面以外のバス路線への接続が課題となっている。

※出典：令和 2 年度国勢調査

- ・実証運行では、若葉台地区を対象として、地域住民からの要望、ボランティアドライバーの確保状況をみつつ、地区外の買い物施設（スーパーアルプス城山店）までの運行も実施する。



▲ 若葉台地区での運行エリア

背景: 地理院地図

2. 運行計画

▼ 運行計画〔共通事項〕

項 目	内 容 等																	
① 運賃	・ 無料																	
② 利用方法	①利用者登録 ・ 住所、氏名、電話、年代、利用規約への同意 ②電話（専用番号）で事前予約 ・ 利用者名を伝え、乗車を希望する便を指定 ※ただし、利用者登録がなくとも、乗車人数に空きがあれば、乗車可能。																	
③ 使用車両	・ グリーンスローモビリティ車両 7 人乗り（AR-07） ・ 車両所有者より貸与  ▲使用車両 諸元 <table><tr><td>全長</td><td>3, 955mm</td><td>重量</td><td>590kg</td></tr><tr><td>全幅</td><td>1, 354mm</td><td>乗車定員</td><td>7 名</td></tr><tr><td>全高</td><td>1, 837mm</td><td>走行速度</td><td>0～19km</td></tr><tr><td>最低地上高</td><td>115mm</td><td>ナンバー登録時</td><td>小型自動車</td></tr></table>		全長	3, 955mm	重量	590kg	全幅	1, 354mm	乗車定員	7 名	全高	1, 837mm	走行速度	0～19km	最低地上高	115mm	ナンバー登録時	小型自動車
全長	3, 955mm	重量	590kg															
全幅	1, 354mm	乗車定員	7 名															
全高	1, 837mm	走行速度	0～19km															
最低地上高	115mm	ナンバー登録時	小型自動車															

▼ 運行計画〔運行方法の種類〕

運行方法	運行期間
① サークル送迎便	2023 年 10 月 4 日（水）～2023 年 11 月末
② スーパーアルプス城山店便	2023 年 10 月 3 日（火）～2023 年 11 月末

▼ 利用同意書原稿(1/2)

グリスロ若葉台の会に関する

利用同意書

私は、貴団体が道路運送法上の許可または登録を必要としない、善意の活動を基本とした非営利団体であることを理解し、以下の利用規約について、貴団体から十分な説明を受け、その内容を十分に理解しました。

私は、送迎の実施中・実施後に生じた体調等の変化について、貴団体に責任を問わないことに同意いたします。

私は、送迎実施中に万一事故に遭遇した際、当該自動車保険で対応できる範囲内においてのみの賠償に従い、貴団体の責任は一切問わないことを了承の上、同意いたします。

令和 年 月 日

グリスロ若葉台の会 様

<利用者>

住所	相模原市緑区
ふりがな	
氏名	
自宅電話	
携帯電話	
年齢	59 歳以下 ・ 60 歳台 ・ 70 歳台 ・ 80 歳以上

<同意内容確認者・緊急連絡先>

住所	
ふりがな	
氏名	
自宅電話	
携帯電話	
続柄	

利用規約（ご利用者様控え）

- 1 移動の支援を受けるもの（以下、「利用者」という。）は、送迎の実施中・実施後に生じたケガや体調等の変化について、グリスロ若葉台の会（以下、「実施者」という。）に、責任を問わないことに同意いたします。
- 2 利用者は、送迎実施中に万一事故に遭遇した際、当該自動車保険で対応できる範囲内においてのみの賠償に従い、実施者の責任を問わないことに同意いたします。
- 3 利用者は、送迎の運行日、運行時間、運行経路、乗降場所は定められた内容に従います。
- 4 団体や取組の性質上、運休などにより乗車が出来ない場合に、実施者に対して、責任を問わないことに同意いたします。
- 5 利用者がこの規約に違反した場合、または、実施者が不適切と判断した場合は、利用を中止することがあります。それにより、利用者に損害が発生しても、実施者に責任を問わないことに同意いたします。
- 6 利用者の不正や不適切な利用により発生した損害は、利用者の責任と費用により、損害を賠償します。
- 7 実施者の判断により、送迎の取り組みの廃止や変更が生じた場合、利用者は従うものとします。

上記の事項について、すべての内容を了承しました。

令和 年 月 日

利 用 者 _____

同意内容確認者 _____

① サークル送迎便（イベント便）

▼ 運行計画〔サークル送迎便〕

項 目	内 容 等
① 名称	サークル送迎便
② 運行期間	2023 年（令和 5 年）10 月 4 日（水）～
③ 運行ルート ・乗降場所	若葉台自治会館で開催しているサークル活動や、地区内でのイベントの送迎。自治会館と利用者の自宅間を基本に運行。
④ 運行する主なイベント	定例イベント：朝市（毎週水曜）、若葉ほっこりな（第 3 金曜）、さわやかサロン（第 2 木曜）、YY 若葉（毎週水曜、土曜）

② スーパーアルプス城山店便

▼ 運行計画〔スーパーアルプス城山店便〕

項 目	内 容 等
① 名称	スーパーアルプス城山店便
② 運行期間	・2023 年（令和 5 年）10 月 3 日（火）～ ・毎週火・土曜日
③ 運行ルート ・乗降場所	【午前便】 10:00 自治会館発（予約者宅付近の決められた乗車地点まで迎車） ↓ アルプス城山店（買い物時間 50 分前後） 11:20 頃 アルプス発 ↓ 11:30 頃 若葉台着 予約者自宅付近まで送る 【午後便】 14:00 自治会館発（予約者宅付近の決められた乗車地点まで迎車） ↓ アルプス城山店（買い物時間 50 分前後） 15:20 頃 アルプス発 ↓ 15:30 頃 若葉台着 予約者自宅付近まで送る ※ドライバーは自宅位置が分からないため、迎車は乗車地点まで出て来てもらう。帰りは乗客に聞きながら、自宅まで運行。

グリスロ乗車地点



- ① 自治会館
- ② 新若葉台バス停（橋本駅行側）
- ③ 1丁目ゴミ箱No1付近
- ④ 3丁目ジグザグ入口付近
- ⑤ カタクリ公園
- ⑥ 5丁目ジグザグ入口付近
- ⑦ 5丁目入口付近
- ⑧ 若葉台住宅バス停付近
- ⑨ 小栗公園
- ⑩ 7丁目ゴミ箱No37付近
- ⑪ 7丁目ゴミ箱No41付近

各乗車地点には
のぼり旗か
バス乗車地点の
表示をします

▲スーパーアルプス城山店便・迎車時のグリスロ乗車地点



▲スーパーアルプス城山店へのルート（団地内は予約状況に応じて運行）

3. 広報計画

- ・実証運行についての周知を進め、利用を喚起する広報を行う。

広報手法	主な対象者	概 要
① チラシ（全戸配布）	・住民	・ グリスロ運行状況レポート
② チラシ（掲出）	・住民	・ グリスロ 10 月、11 月の運転予定
③ チラシ（関係者配布）	・ 登録者 ・ 関係スタッフ	・ 同上

次ページより、チラシを掲載する。

全戸配布

2023年9月



グリスロ運行状況レポート

グリーンスローモビリティ（略称グリスロ）（環境に配慮した地域内移動手段）は10年ほど前から各研究機関やメーカー、行政で検討されてきましたが、数年前に法律が改正されて公道を走れるようになり、それ以降日本各地の商業地、観光地、住宅街などで実証運行や実用運転が行われています。

若葉台では昨年秋に環境庁より日本で5か所の実証試験地の一つに指定され、相模原市の指導・協力で住民アンケート、試験運転を経て、今年6月、7月と10月、11月の2回、実証運行を行うことになりました。

急遽ボランティア団体『グリスロ若葉台の会』を立ち上げ、6月8日に本村市長や市議会議員などのご来賓ご臨席のもとでオープニング式典を挙行了しました。その様子はTVKでも放送され現在もYouTubeでご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=v30EGqEY8qI&t=44s>



TVKニュース画像より

▼ チラシ(全戸配布)【グリスロ運行状況レポート】(2/2)

■ 運行実績 (2023年6月8日～9月16日分) 延べ337人利用

月	種別	運行日数	運行便数	利用者数
6、7月 第一回目 実証運行	①定期便 (若葉台内循環)	11日間	20便	28人
	②サークル送迎便	15日間	26便	73人
	③イベント便	6日間	23便	106人
	④アルプス買物便	5日間	16便	46人
8、9月 計画外追加運行 (8月22日～9月16日 迄の実績)	①アルプス買物便	8日間	14便	46人
	②サークル送迎便	8日間	12便	39人
	③イベント便	0日間	0便	0人

■ 10月11月には第2回目実証運行を予定 (運行は8月9月と同じ方式にする予定)

■ 保険の関係もあり、ご利用には利用者登録が必要です。

乗車希望の方は090- 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇 へ連絡してください
登録すればどなたでも無料でご利用できます。

無償運転ボランティアは現在20名ほどが登録されていますが、約1/3は若葉台以外の方が担っておられます。

運転ボランティアが可能な方はどうぞ追加登録をお願いします。

土日だけ、月1回だけ、不定期などの条件付きでもOKです。

若い方にもぜひ運転ボランティアをお願いしたいです。

運転者登録は所定の講習の受講などが必要になってきますが、登録者が増えれば増便も可能になり、より使い勝手が良くなると考えています。

登録希望者はグリスロ若葉台の会 090- 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇 へ

グリスロ専従事務員を複数名募集します。業務内容は乗車希望者からの予約電話を受ける役目で自宅でも可能です。

グリスロ運転手は規定により無償ボランティアですが、専従事務員には手当を支払います。応談 希望者は 〇〇〇〇〇〇〇〇 会長まで
(携帯 090- 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇)

グリスロの愛称を募集しています。

現在は「わかば号」「カメさんGO!」「ワカちゃん」など5,6点の応募があります。

募集締め切りは10月末、任意の紙にお名前、住所と愛称を書き会館にある自治会ポストに投函してください。

2023年9月19日 グリスロ若葉台の会

▼ チラシ(掲出・関係者配布)【グリスロ 10 月、11 月の運転予定】(1/2)

グリスロ登録者、関係者へ配布、掲示

掲示許可
10/3～10/31
若葉台自治会



グリスロ 10 月、11 月の運転予定

10 月、11 月は 9 月と同じ形で運行します

① 定期便【アルプス城山店お買い物便】

火曜、土曜日 午前10時、午後2時に若葉台発

② 各サークル活動時の専用送迎便

③ イベント時の臨時便（運行時に別途通知）

以上の 3 通りで、この運行は相模原市のグリスロ第 2 期実証運行になります

■ 定期便の利用を希望される方は 090-0000-0000

(グリスロ若葉台の会) へ連絡して利用者登録および乗車予約をしてください

乗車地点はご自宅近くの乗り場を予約時に指定してください
若葉台内に 11ヶ所あります。帰りは自宅前までお送りします

- 1 丁目: No2 (新若葉台バス停)、No3 (1-1 付近のゴミ箱)
- 2 丁目: No2 (新若葉台バス停)
- 3 丁目: No4 (3-17 付近ジグザグ入口付近)、No5 (カタクリ公園)
- 4 丁目: No2 (新若葉台バス停)
- 5 丁目: No5 (カタクリ公園)、No6 (5-10 ジグザグ入口付近)
No7 (5-20 付近ゴミ箱)
- 6 丁目: No8 (若葉台住宅バス停)、No9 (小栗公園)、
No1 (自治会館)
- 7 丁目: No1 (自治会館)、No2 (新若葉台バス停)、
No9 (小栗公園)、No10 (7-16 付近ゴミ箱)、
No11 (7-23 付近のゴミ箱)

【裏面の地図参照】

各乗り場には青色のグリスロのノボリが立っています(一部を除く)、乗り場の目印にしてください。10 時、2 時の出発時刻は自治会館出発の時間で、各乗り場には数分後～5 分後に到着します。アルプス買物便の現地買い物時間は約 50 分を予定しています

2023 年 10 月

グリスロ若葉台の会

グリスロ乗車地点



- ① 自治会館
- ② 新若葉台バス停 (橋本駅行側)
- ③ 1丁目ゴミ箱No1付近
- ④ 3丁目ジグザグ入口付近
- ⑤ カタクリ公園
- ⑥ 5丁目ジグザグ入口付近
- ⑦ 5丁目入口付近
- ⑧ 若葉台住宅バス停付近
- ⑨ 小栗公園
- ⑩ 7丁目ゴミ箱No37付近
- ⑪ 7丁目ゴミ箱No41付近

各乗車地点には
のぼり旗か
バス乗車地点の
表示をします

予約時に乗車予定の番号をお伝えください

出発時間の10時、2時は①の自治会館出発時刻です。各乗車場までは5分から10分程度かかります

予約者によって最短コースを通りますので、毎回到着時間が多少前後します

乗車キャンセル時は必ず連絡を入れてください

4. 資材・要員等計画

1) 資材準備

資材	概 要
① 車両掲示物	・ 実証実験の車両であること、低速走行であることを車両に表示する掲示物（ラミネート加工）の作成
② グリッド乗車地点	・ のぼり旗の設置

次ページより、提示物のイメージを掲載する。

【① 車両掲示物】

車両掲示物 掲出箇所



フロントガラス



後部カゴ（左右）

車両掲示物

①フロントガラス

← 420mm →



↑ 297mm ↓

②後部カゴ左

← 390mm →



↑ 173mm ↓

③後部カゴ右

← 390mm →



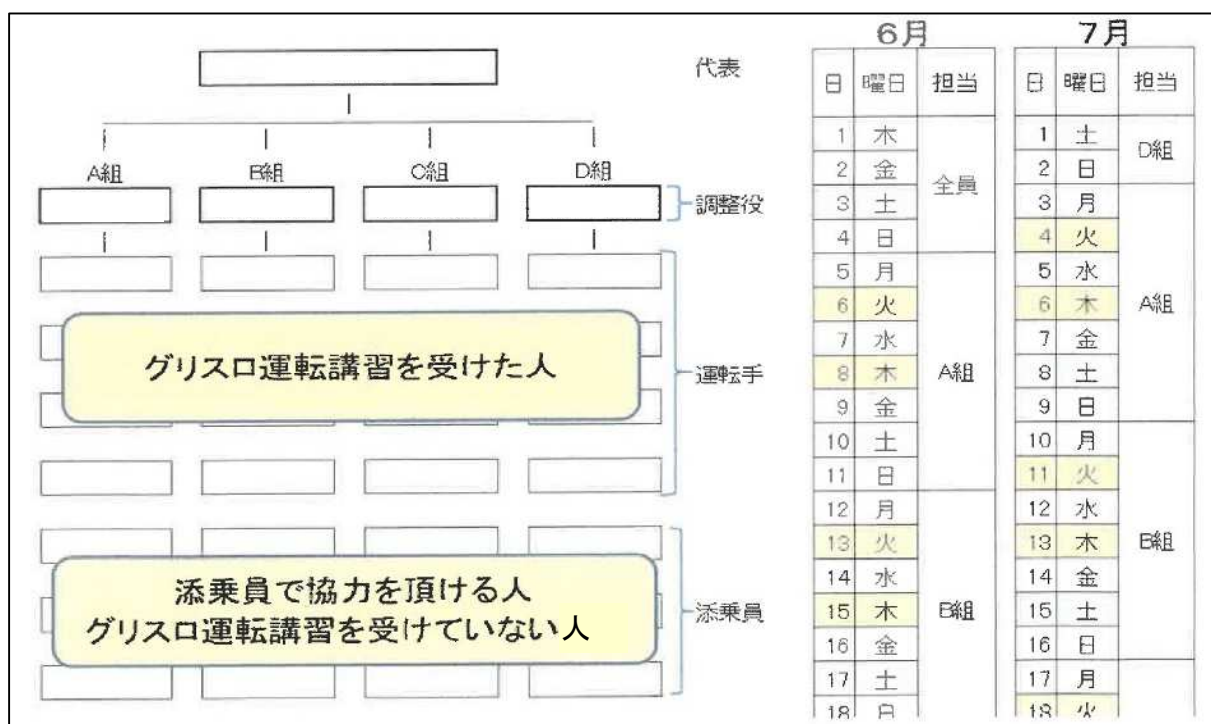
↑ 173mm ↓

【② グリantro乗車地点】

のぼり旗



2) 要員



▲ 体制イメージ

※各要員の役割は以下の通り。

- ・代 表：全体統括
- ・調整役：予約の受付、鍵や日報の引き継ぎ、利用者への運休連絡、運転手の当日欠員補充、運行中や予約受付時の問い合わせ対応
- ・運転手：ドライバー、車両の点検（回覧にて地域住民より募集）
- ・添乗員：日報の記入、運行ルートのご案内、公園ポールの取り外し、利用者の確認、調整役との連絡（回覧にて地域住民より募集）

※ドライバーには、グリスロを用いた安全運転講習を義務付け、講習受講者には下図の受講証を授与する。

グリスロ若葉台の会
グリスロ

運転手

姓 名は小

安全・安心な運転に努めるので、ご協力ください

グリスロ安全運転講習を受講済み
受講番号: 若葉台-001

▲ 受講証

▼ 活動者登録票

ボランティアとして活動に参加表明した住民は、以下の活動登録票に必要事項を記入し
グリスロ若葉台の会に提出する。

グリスロ若葉台 活動者登録票

登録年月日

令和 年 月 日

登録番号

ふりがな					性別	生年月日			
名前					男 女	昭和 平成	年 月 日		
住所	〒 相模原市緑区								
連絡先	固定電話				携帯電話				
	電子 メール	@							
活動可能な 曜日と時間		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	不定期
	午前								
	午後								
講習等の 受講歴	講座名				受講有無	受講年月	修了証等 番号		
	外出支援ボランティア担い手養成講座				有・無				
	福祉有償運送の講座				有・無				
	グリスロ運転講習				有・無				
	その他()				有・無				
役割	運転	添乗							
備考									

▼ 体制図(概要)(6月7日時点のものを掲載)

6月				7月		
日	曜日	担当	日	曜日	担当	
1	木	車到着	1	土	B組	
2	金	雨	2	日		
3	土	雨	3	月	A組	
4	日	休	4	火		
5	月	講習会	5	水		
6	火	A組	6	木		
7	水		7	金	B組	
8	木	開通式	8	土		
9	金	A組	9	日		
10	土		10	月	C組	
11	日	D組	11	火		
12	月		12	水		
13	火		13	木		
14	水	C組	14	金	D組	
15	木		15	土		
16	金		16	日		
17	土		17	月	B組	
18	日	B組	18	火		
19	月		19	水		
20	火		20	木		
21	水	A組	21	金	C組	
22	木		22	土		
23	金		23	日		
24	土		24	月	D組	
25	日	B組	25	火		
26	月		26	水		
27	火		27	木		
28	水	A組	28	金	B組	
29	木		29	土		
30	金		30	日		
			31	月		

※別途、シフト表も作成

3) 保険

以下の任意保険に加入する。

▼ 加入する任意保険の内容

＜任意保険の内容＞

- ・ 運転年齢条件 : 26 歳以上
- ・ 対人賠償 : 無制限
- ・ 対物賠償／免責金額 : 無制限／免責なし
- ・ 人身傷害 : 無制限
- ・ 車両保険／免責金額 : 車両時価相当／免責なし

5. 効果把握調査計画

- ・実証運行による効果や影響、導入課題を把握するため、以下の調査等を実施する。

▼ 調査内容

	調査方法	調査内容
① 運行実績調査	・ 運行実績（予約実績、日報等）をもとに輸送実績を整理	○ 予約実績として、以下を取得 ・ 利用者名 ・ 利用希望コース ○ 添乗員が日報として以下の情報を取得 ・ 当日の天候 ・ 利用便 ・ 利用者名 ・ 運行中のトラブルの有無
② 利用者アンケート	【利用者登録時】 ・ 登録用紙裏面にアンケートを掲載	・ 運行希望コース ・ 行きたい施設・場所 ・ ご意見
	【実証中 第1期後に実施済】 ・ 利用登録者に配布	・ 利用実態（利用コース、利用頻度、目的地等） ・ 生活の変化（外出頻度が増えた等） ・ 改善希望
	【実証中 第2期後に実施（予定）】 ・ 利用登録者に配布	・ 生活全体での公共交通利用の変化 ・ 潜在的な利用者（未登録の友人等の有無） ・ 情報提供内容、方法、スマホ利用可能性等
③ スタッフアンケート （ドライバー、添乗員）	【実証中 第2期後に実施（予定）】 ・ スタッフに配布	・ スタッフをしてよかったこと ・ 今後も継続的に参加できるか ・ スタッフが参加しやすくなる、楽しく参加するためのアイデア ・ その他、運営上の改善希望 ・ 実証期間の間の協力意向 等

▼ 運行日誌サンプル(サークル送迎便)

グリスロ 予約、運転記録

定期外運行

実施日

令和5年 9月 / 日(金)

目的 体操送り.

運行前車両点検

☒

停車場所	時間		シート(結果)					シート(予約)					運転者 添乗者 調整者	呼気 検査
	予定	結果	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
自治会館		10:20												☒
			↓	↓	↓	↓								
				↓	↓	↓								
					↓	↓								
													天気 晴	
													気温 35.3℃	
自治会館		10:45												
利用者人数		4												

特記事項

▼ 運行日誌サンプル(スーパーアルプス城山店便)

グリスロ 予約、運転記録

実施日

R5年 9 月 9 日 土 曜 日

アルプス午前便 10時出発

シート	予約			結果		
	名前	乗車場所	住所		運転者	
1		⑧		若葉台住宅 バス停付近から 乗車 帰りはご能率で	添乗者	
2		⑧			調整者	
3		⑧				
4					天気	小雨
5					気温	26.0℃
利用着人数: 3人×2.				TMJ着10:13	車チェック	✓
				アルプス発11:00	アルコールチェック	✓
				会館帰着11:30		

アルプス午後便 14時出発

シート	予約			結果		
	名前	乗車場所	住所		運転者	
1	予約なく、運休.				添乗者	
2					調整者	
3						
4					天気	
5					気温	
				車チェック		
				アルコールチェック		

特記事項

6. 準備・運営計画

1) 実証運行の準備

① 警察との調整・・・〔市〕

- ・6月5日 津久井警察署に対して実施
- ・7月6日 スーパーアルプス城山店便のルートについて相談
⇒ 鍛冶屋線（小松交差点～八幡宮交差点）について、通行量が多く、交通事故の危険性、渋滞発生懸念、近隣住民からの通報等の観点から、鍛冶屋線の通行は望ましくないという回答

② 交通事業者との調整・・・〔市〕

- ・5月29日 タクシー事業者（城山交通、津久井交通）
- ・バス事業者（神奈川中央交通）は、メールにて情報提供済み

③ 広瀬病院との調整・・・〔自治会〕

- ・6月1日 実施済み

④ 契約手続き・・・〔市または車両所有者〕

○ ナンバー変更手続き

- 6月1日 相模自動車検査登録事務所にて実施済み

○ 車両貸与手続き

- 使用貸借契約書を、車両所有者と自治会法人若葉台（車両使用）間で取り交わし

2) 実証運行中の対応

- ・別途、運行実施マニュアルを作成している。